

令和8年（2026年）北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及連携グループ 渡辺 誠二

森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、森林整備や木材利用に関する研究成果や技術情報、活動事例をわかりやすく紹介し、北海道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、北海道森づくり研究成果発表会を北海道水産林務部と例年共催しています。

今年度は、令和8年5月26日(火)に、北海道立道民

活動センター「かでの2・7」において開催しました。口頭発表をかでのホールで行い、ポスター発表を展示ホールで行いました。

発表会は、北海道水産林務部渡辺森林海洋環境局長のあいさつで開会し（写真1）、午前には一般の部の口頭発表を行い、午後には森林研究本部の山田本部長からの研究概要の説明の後（写真2）、森林研究本部



写真1 渡辺局長 開会あいさつ



写真2 山田本部長 研究概要説明



新たな道産樽用木材の探索 ～香り成分に着目して～
利用部 バイオマスG 濱川



ガスセンサを用いた壁体内腐朽の非破壊的検出の試み
性能部 構造・環境G 鈴木



JAS 製材の含水率検査を効率よく行うための取り組み
技術部 生産技術G 土橋



広葉樹をもっと活用しよう
～ひだか南地域の広葉樹販路拡大の取組～
利用部 資源・システムG 酒井

写真3 林産試験場からの口頭発表の様子

の部の口頭発表を行いました(写真3)。口頭発表は、一般の部では、北海道森林管理局・石狩市森林組合共同1件、森林総合研究所北海道育種場1件、天塩町農林水産課1件、北海道自伐型林業推進協議会1件、北海道上川総合振興局1件の計5件の発表があり、森林研究本部の部では、林業試験場6件、林産試験場4件の計10件を発表しました。

ポスター発表は、終日の展示に加え、各研究員が展示場所で説明を行うコアタイムを、午前と午後に分けてそれぞれ行いました(写真4,5)。ポスター発表は、一般の部では、口頭発表の課題に加え、森林総合研究所からの1件、北海道渡島総合振興局からの1件を加えた計7件を発表しました。森林研究本部の部では、口頭発表の課題も含めて林業試験場11件、林産試験場16件の計27件を発表しました。特にコアタイムでは、発表者から直に話が聞けることもあり、ポスターを前に参加者は熱心に説明に耳を傾けていました。

森林研究本部の口頭発表の終了後、森林研究本部林産試験場の松本場長から閉会のあいさつがあり(写真

6)、そのあと午後のポスター発表コアタイムを実施して、発表会の全日程を終了しました。当日は、昨年よりも多い200名を超える参加者があり、盛況な発表会となりました。



写真6 松本場長 閉会あいさつ



写真4 コアタイム時の説明の様子

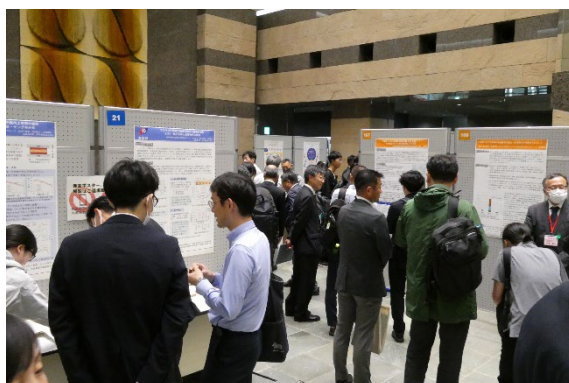
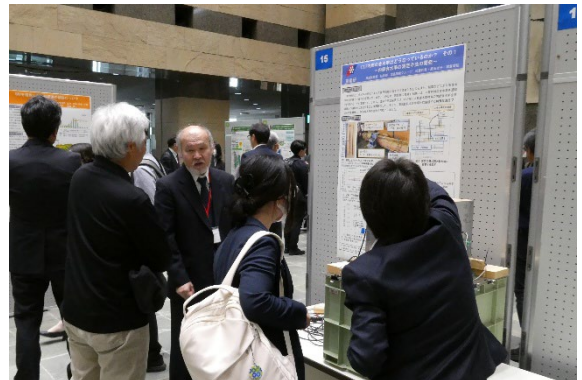


写真5 ポスター発表会場の様子(コアタイム)

